

社会課題解決に向けたスマートサービス実装事業における
スマートサービス実装促進事業者への協定金支払基準

令和7年8月18日 07 推推第 429 号

1 目的

この基準は、社会課題解決に向けたスマートサービス実装事業（以下「本事業」という。）において採択されたスマートサービス実装促進事業者（以下「事業者」という。）が、東京都（以下「都」という。）と締結する「社会課題解決に向けたスマートサービス実装事業の実施に関する協定書」に基づき実施する取組の成果に対し、都が事業者に支払う協定金の支払基準を定めることを目的とする。

2 用語の定義

この支払基準における用語の定義は、以下のとおりとする。

- (1) 協定金とは、事業者が都と連携して本事業の主旨に沿って行った事業の成果に対し、その応分の負担として都が支出する金額をいう。
- (2) 評価委員会とは、外部有識者等で構成され、事業者が実施する事業の成果及び KPI の達成状況について評価を行う主体のことをいう。
- (3) 定量評価額とは、本事業の目的達成のために都が定めた数値目標や事業者が事業計画で設定する数値目標の達成度合いに応じて算出された金額のことをいう。
- (4) 定性評価額とは、事業者が事業実施に際し取り組んだ内容について、評価委員会が定性的に評価を行い、その評価結果に応じて算出された金額のことをいう。
- (5) 最終評価額とは、定量評価額に定性評価額を加算した金額のことをいい、この最終評価額を都が事業者に支出する協定金の金額とする。ただし、最終評価額の上限は、初年度 120,000 千万円/年度、次年度以降 160,000 千万円/年度とする。

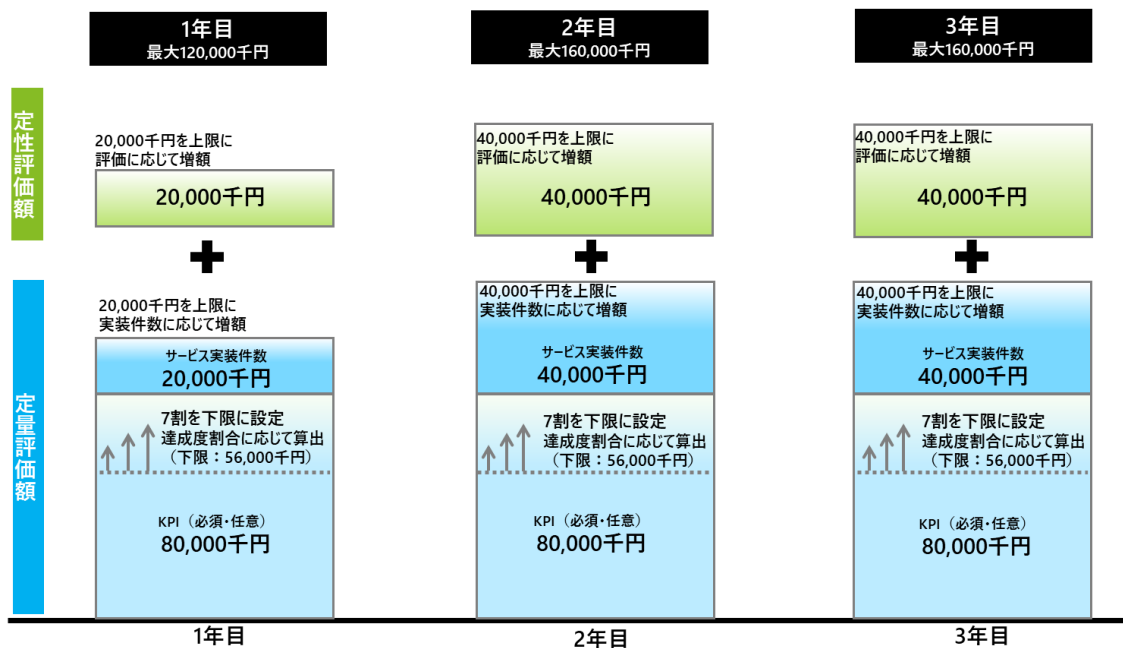
3 協定金支払い額の算出方法

都は、定量面・定性面の2つの観点から評価を実施し、評価結果に応じた協定金の支払いを行う。

定量面では、本事業の目的達成のために都が定めた数値目標や事業者が事業計画で設定する数値目標等の達成度合いに応じた定量評価に基づき、定量評価額を算出する。

定性面では、事業者が事業実施に際し取り組んだ内容について、評価委員会が定性的に評価を行い、その評価結果に応じて定性評価額を算出する。

定量評価額に定性評価額が加算され、初年度 120,000 千万円/年度、次年度以降 160,000 千万円/年度（予定）を上限に協定金が支払われる。上記に基づく評価結果と協定金支払額のイメージは以下のとおり。



4 定量評価額の算出方法

都および事業者が設定した KPI 項目及び実装件数の達成度合いについて、事業者からの達成状況の報告を基に定量的な評価を行い算出する。KPI 項目の達成度合いに基づく評価額は 8 千万円/年度、実装件数の達成度合いに基づく評価額は初年度 2 千万円/年度、次年度以降 4 千万円/年度を上限とする。

- (1) KPI 項目は、事業者が設定する KPI の数値目標の達成率に応じた評価を行う。事業者の事業報告をもとに、事業者が提出する KPI 設定説明書に記載の見積額に、下限として定める 0.7 から上限として定める 1.0 の達成率を乗じて評価額を算出する。
- (2) 実装件数は、目標件数に対する達成率を上限額に乗じて評価額を算出する。なお、初年度の目標件数は 6 件と定め、次年度以降は以下の算出式に基づき目標件数を定める。
 2 年目 … (40 件－前年度の実装件数) ÷ 2
 3 年目 … 40 件－前年度までの累計の実装件数
- (3) 定量評価額は、3 (1) (2) で算出した評価額を合算した金額とし、初年度 100,000 千円/年度、次年度以降 120,000 千円/年度を上限とする。

5 定性評価額の算出方法

定性評価では、評価委員会が「実装支援されたスマートサービスの性質」と「スマートサービスの実装支援による社会への貢献」の観点から、下表の項目に基づき評価を行う。評価委員会により、本事業趣旨の実現を促進・加速させるような効果を創出したと評価された場合は、定量評価額に定性評価額を加えた金額が協定金の支払額となる。

【実装支援されたスマートサービスの性質の観点】	
① 課題適合性：	エリアの課題を的確にとらえ、適切なサービスを選定し実装支援で

きているか ② ストーリー性 ：スマートサービスの実装意義や都民への便益等、狙いを持ったサービス実装を行っているか ③ 持続性 ：ビジネスモデルの確立や効果測定等、事業終了後も継続するサービス実装のための支援が検討されているか
【スマートサービスの実装支援による社会への貢献の観点】
① スマートサービスの水平展開・面的な実装 ：より多くの都民がスマートサービスの恩恵を享受できるよう、社会的インパクトの最大化を目指した実装支援が展開されているか ② 受容性向上への貢献 ：実装の過程や実装後において、スマートサービスに対する社会的受容性を高める取組がなされているか ③ インクルーシブな都市づくりへの貢献 ：実装したスマートサービスや取組が東京都の目指すインクルーシブシティの実現への寄与が期待できるか

評価委員会における定性評価点に応じて、下表のとおり定性評価額を決定する。

定性評価点	定性評価額（初年度）	定性評価額（次年度以降）
80 点以上	20,000 千円	40,000 千円
60~79 点	15,000 千円	30,000 千円
40~59 点	10,000 千円	20,000 千円
20~39 点	5,000 千円	10,000 万円
19 点以下	0 円	0 円

6 協定金の支払

(1)協定金の支払は、原則、当該年度末に開催する KPI 評価委員会において当該年度の最終評価額が決定した後、当該年度分の協定金を一括で支払うこととする。

(2)促進事業者が半期ごとの協定金の支払を希望する場合は、採択された次年度以降に、都はその年の基準額に0.7を乗じて算出する金額のうち半額を上限に年度途中に支払うことができる。その場合、当該年度終了時に支払う協定金の金額は、最終評価額から年度途中に支払った金額を差し引いた金額とする。

7 その他

この支払基準に定めのない事項について疑義が生じたときは、その都度協議を行い、これを決定するものとする。

8 適用

この支払基準は、決定のあった日から適用する。